



2022 年度 中国学連審判部 第 1 回研修会 報告書

報告者：権田智久、堀格郎、柳岡拓磨

2022年度 中国学連審判部 第1回研修会 報告書

報告者：権田智久、堀格郎、柳岡拓磨

【研修日】2022年8月23日（火）～8月24日（水）

【場所】広島大学東広島キャンパス南グラウンド

【参加者】

インストラクター（6名）

権田智久（中国学連審判部チーフ）、藤岩秀樹（中国大学サッカー連盟審判委員長）、池内明彦（1級、PR）、堀格郎（1級、岡山県担当）、柳岡拓磨（1級、広島県担当）、江角直樹（中国 RDO）

審判員（9名）

市川航輔、田口新、中本万虎平、土井麻里江、西本奈津、八幡匡紀、岡田朝陽、北川遼、前田俊輔

【スケジュールと割当】

<1日目>

2022.8.23(火)		参加メンバー
14:00	開講式(13時50分集合) 権田氏	■インストラクター 1 権田 智久(中国学連審判部チーフ) 2 藤岩 秀樹(中国大学サッカー連盟審判委員長) 3 池内 明彦(1級、PR) 4 柳岡 拓磨(1級、広島県担当)
14:30	講義『試合前の打ち合わせ』 池内氏、柳岡氏	
	試合への準備	
15:00	第1試合	
15:30	第2試合	
16:00	第3試合	
16:30	第4試合	
17:00	第5試合	
17:30	第6試合	
18:00	池内氏からコメント	
18:30	まとめ 権田氏、藤岩氏	
		■試合情報 中国大学選抜選考会 1・2年生選考会 試合時間: 25分 ×6本

審判割当				
試合	主審	副審1	副審2	インストラクター
1試合目	田口 新(2級)	市川 航輔(2級)	岡田 朝陽	権田 智久
2試合目	西本 奈津(4級)	八幡 匡紀(4級)	北川 遼	柳岡 拓磨
3試合目	池内 明彦(1級)	田口 新(2級)	前田 俊輔	権田 智久
4試合目	八幡 匡紀(4級) シャドー:池内氏	中本 万虎平(2級)	岡田 朝陽	柳岡 拓磨
5試合目	田口 新(2級)	西本 奈津(4級)	北川 遼	権田 智久
6試合目	中本 万虎平(2級)	八幡 匡紀(4級)	前田 俊輔	柳岡 拓磨

2022.3.24(水)		参加メンバー
14:00	挨拶(13時50分集合) 権田氏	■インストラクター 1 権田 智久(中国学連審判部チーフ) 2 藤岩 秀樹(中国大学サッカー連盟審判委員長) 3 池内 明彦(1級、PR) 4 堀 格郎(1級、岡山県担当) 5 江角 直樹(中国RDO) ■審判員 1 田口 新(吉備国際大学4年、2級) 2 中本 万虎平(IPU・環太平洋大学4年、2級) 3 西本 奈津(広島大学2年、4級) 4 八幡 匡紀(広島大学2年、4級) 5 岡田 朝陽(広島大学1年) 6 北川 遼(広島大学1年) 7 前田 俊輔(広島大学1年) 8 市川 航輔(岡山大学M1、2級) 9 土井 麻里江(岡山理科大学4年、2級) ■試合情報 中国大学選抜選考会 3年生選考会 試合時間: 15分 × 5本
14:30	講義 『副審の動きとフラッグテクニック』 権田氏、池内氏、堀氏	
	試合への準備	
15:00	第1試合	
15:30	第2試合	
16:00	第3試合	
16:30	第4試合	
17:00	第5試合	
17:30	参加者からの感想	
	まとめ 権田氏、藤岩氏、池内氏、江角氏	
18:00		
18:30		

審判割当				
試合	主審	副審1	副審2	インストラクター
1試合目	市川 航輔(2級)	西本 奈津(4級)	岡田 朝陽	江角 直樹
2試合目	中本 万虎平(2級)	土井 麻里江(2級)	北川 遼	池内 明彦
3試合目	土井 麻里江(2級)	西本 奈津(4級)	前田 俊輔	権田 智久
4試合目	田口 新(2級)	中本 万虎平(2級)	岡田 朝陽	池内 明彦
5試合目	市川 航輔(2級)	八幡 匡紀(4級)	北川 遼	権田 智久

【研修会内容】

8月23日(火)から24日(水)の2日間、中国学連審判部として初となる第1回研修会を開催した。

今回が中国学連審判部を立ち上げての1回目ということで、テーマを【基本の確認と『みる』】とした。審判員としての判定や動きの基本の考え方を確認し、試合で正しい判定のためにどこなら事象を見ることができるかや選手の動きや意図を見ることが、また他の審判員を観て学んでもらった。

研修会は、広島大学で行われた中国大学選抜選考会の試合を用いて、実際に主審と副審を担当する実践型で実施した。講師には、1級審判員でPRとして活躍されている池内明彦氏をお招きし、実際に主審および学生と一緒に主審を行うシャドー方式を担当してもらった。

学生審判員には、試合後すぐに振り返りを行い、良かった点や改善点をインストラクターの言葉をヒントに自ら考える形式を取った。



【参加者コメント】

○田口新（吉備国際大学4年、2級）

経験豊富な方々から指導していただけるのは中々ない機会なのでありがたかったです。自分のレフリングはもちろん、外で他の人のレフリングを見るのも勉強になりました。

○土井麻里江（岡山理科大学4年、2級）

普段は挑戦できないカテゴリーの主審、副審で不安もありましたが、ベテランの審判員、インストラクターの方々からのご指摘を頂き、良い経験となりました。フィードバックでは、具体的なシーンの最適な動き、必要な事などを確認しました。その後の試合で攻守の切り替えのタイミングを再度確認し、より理解が深まりました。もっと成長出来るように努力していきたいと思えた研修会でした。ありがとうございました。

○西本奈津（広島大学2年、4級）

僕は今回の研修を通じて、これまで審判をする際には全く意識してなかったけど実はとても重要だったことや、審判をする時にいつも疑問に思っていたことなどをたくさん知ることができました。とてもいい経験になったので、今回学んだことを次に審判をする時や、選手としてピッチに立った時に活かしたいと思いました。最後に、このような機会を企画してくださり、ありがとうございました。楽しかったです！

○北川遼（広島大学1年）

今まで何となくやっていたレフェリーの詳しいことを教えてもらい曖昧なところが減ったと思う。いつもの副審に焦点を当てたことでいつもは見る事が出来ないピッチ内を見る事ができた。例えばFWの動き出しや駆け引きなどこれから生かせることばかり学べたから良かったと思う。

【講師コメント】

○藤岩秀樹（中国大学サッカー連盟審判委員長）

中国学連審判部で初めての研修会を開催することができました。ご協力いただいた中国協会審判委員会の皆様には心より感謝申し上げます。今回参加した学生が大学の枠を超えて積極的に交流している様子や、たった2日間で審判技術がみるみると上達していく様子を目の当たりにして、研修会を実施してよかった！と実感した次第です。今後もこのような活動を継続していきたいと思えます。2日間ありがとうございました。

○堀格郎（中国学連審判部 岡山県担当）

中国学連審判部として、初の研修会を開催できたことは、大変喜ばしいです。参加してくれた学生審判員たちは、少しでも成長できるように真剣にアドバイスを聞き、それを実践していました。今後は、参加してくれる学生の輪を広げ、さらに中国大学サッカー連盟と連携を強化していくことが必要だと思いました。

